

お元気ですか

中央地区社協です

笑顔で声を掛け合い、心通い合う、活気溢れる、安心で、安全な街 中央地区

弥生の候、皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

26年度、私ども中央地区社会福祉協議会におきましては、連合町内会、民生委員児童委員協議会と連携の下、種々の催し、行事、研修会等を成功裡に行うことが出来ました。これらは、ひとえに皆様のご協力のたまものと深く感謝いたしております。

さて、27年度も引き続き、計画にかかげた諸々の取り組み及び保土ヶ谷区が展開している「20万区民の自助共助による減災運動」をしっかりとやり切つていきたいと思います。更に、本年度は、平成28年度から始まる「第3期保土ヶ谷ほごまちづくり（地域福祉保健計画）」の中央地区計画を、皆様の「意見を頂き、関係機関のご指導も受けて策定をしてみたい」と思います。

保土ヶ谷区全域のほごまちづくり基本理念は、「つながり支えあい安心していきいきと暮らせるまち、ほごがや」です。

これを受けて私ども中央地区では「笑顔で声を掛け合い、心通い合う、活気溢れる、安心で、安全な街、中央地区」を基本理念にしたいと思っております。この理念の実現に向けて、皆様のなご一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



中央地区社協会長
中西 義宣

「おたのしみ会」が社会福祉功績者表彰を受賞!!

んに手渡されました。懸けつけた中央地区社協、調理ボランティアの代表メンバーも大喜び。皆で記念のカメラに収まりました。

なお、この大会の個人部門の社会福祉功績者表彰をおたのしみ会参加者でもある小野ふじよさん、田井ミチ子さん、遠山明子さん、更に天王町スカイハイツ在住の内藤静江さんがそれぞれ長年のボランティア活動を評価されて受賞。中央地区社協関係者の長年の努力が実った素晴らしい出来事でした。(写真左側は社協関係者)

平成26年12月20日(土)に公会堂で開催された第32回保土ヶ谷区社会福祉大会の席上、団体部門で中央地区社協の「おたのしみ会」が社会福祉功績者表彰を受賞しました。

これは昭和57年以来、33年間にわたって高齢者食事を毎月実施してきたことが評価されての表彰。菅井区長、山崎区社協会長からの表彰状と記念品が副代表の山口マキ子さ

調理ボランティアの皆さん
左から個人表彰の遠山さん、田井さん、小野さん、内藤さん

毎月、中央地区民児協定例会を開催

4月19日(土)に今年度第1回の中央地区民児協定例会を開催。以後毎月第3土曜日10時から(8.1月を除く)、かるがも2階の多目的ホールで、中西地区民児協定会長のもとに全民生委員、主任児童委員が集って、活発な協議を繰り広げています。

なお、12月から民生委員の田崎修さんが坂川初恵さんと交代しました。



例会の様子

コスモ横浜星川自治会

発足 1997年7月(平成9年) 世帯数 68
会長 田口 実樹

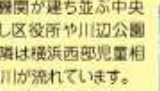
当マンションは1996年7月に完成し、当自治会は翌年7月に住民相互の親睦と防犯防災の協調・連携強化を第一義に組織し、まもなく発足20年目の節目を迎えます。保土ヶ谷区の行政や主要機関が建ち並ぶ中央地区の一角に位置し区役所や川辺公園まで徒歩数分圏内、隣は横浜西部児童相談所、裏側には稚子川が流れています。

自治会役員は管理組合との兼任で任期1年の輪番制です。定期業務をベースに各期でのユニークな活動が特徴の1つです。主イベントは子供会との共同開催で「7月の夏祭り」と「2月の餅つき」です。イベントでは参加者には名札を着用してもらい友好を深める場として有意義な時間と感じてお

最近では近隣店舗の客の自動車が出入り口を塞ぐ危険・送迎駐車車や部外者自転車の敷地内無断駐輪、不審者の散見など住民安全確保と秩序維持を優先した活動にシフトしています。防災面ではマスコミヤ行政からの情報で災害の中で混乱する住民も多く、最少限の心構えと備えをまとめた簡易マニュアルを全戸へ配布し基礎知識共有と連携強化を一歩ずつ進めています。



稚子川の川辺公園



イベントの様子



子供会との共同開催

ちのこん ぴんたんの

平成24年度発行の第6号から9回シリーズの自治会・町内会紹介の企画「ちのこん ぴんたんの」も、12月に新たに加入したアール横浜星川川自治会(次号で紹介予定)を除いてすべて紹介できました。

今号では高田町町内会、高田町協和会、コスモ横浜星川自治会、ライオンズマンション横浜星川町内会の四つを紹介してまいります。既に星川町の町内会として川辺のマンションに川中央地区に反対の存在です。今回の企画にご協力いただいた4自治会町内会と、前2回に紹介した11自治会・町内会に深く感謝申し上げます。

宮田町町内会

発足 昭和27年 世帯数 1,000
会長 伏見 義之

西側の浅間下から天王町駅に向かって裏道を来ると、宮田町に迫分があります。この道こそ昔の東海道でした。その先の国道16号線の向こう側が天王町町内会。天王町には大きなスーパー、イオンがあります。宮田町には大きなお店はありませんが、松原商店街があり、筑のアメ横ともいわれ、テレビ等で時々放映されています。休日ともなると歩くのも大変なくらいの買い物客で賑わっています。町内にも高齢者が多く、近くにお店があるので助かっています。その昔、昭和初期、車もなかった時代ここには馬力屋があった記録が残っており、馬の蹄の音が聞こえてきそうながります。時代の流れが、最近では商店街に

もビルが見え始めました。また、町内にはお稲荷さんがいます。宮田町のお守りとして2月に餅つき等をして初午祭を楽しんでいます。

6月には夏祭りが2日間行われ、1日だけは町内の皆さんで復興を担っており、3年前に発足した女復興会も参加しています。また、商店街の人たちにも大いに協力していただき大変盛り上がっています。

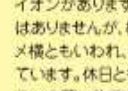
8月には盆踊り大会。婦人会、家訪員の皆さんが中心になって踊り、子ども会、青年会、商店街の協力を得て、出店を楽しみます。

10月には町内バスツアーがあります。健民部の皆さんが頑張ってくれるので、バスが2台も出て良いコースで盛り上がりです。昨年は世界遺産の富士山で大変な賑わいでした。

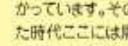
11月は防災部の細かな準備の上、防災訓練が行われます。町内の皆さんが多数参加してください。要援護者を念めた避難方法を確立しました。



町内会



盆踊りの様子



町内会

宮田町協和会

発足 昭和33年7月 世帯数 202
会長 及川 昭

宮田町協和会は57年前、宮田中学校に続く台地の南東の最先端、宮田町3丁目(135世帯)と地続きの2丁目の一部(16世帯)が、本家筋の「宮田町町内会」から分離・独立した自治会です。町内全域が丘陵の南側斜面の場当たり(台風時には猛烈な風当たり)に恵まれた程やかな環境です。ただ、協和(町内)会館が山頂?の宮田中学校入り口バス停前に設置されているため、町内行事の参加には長い坂道の上下りにひと苦労する...といった高齢者には甚だキツイ現状に直面している懸念点?があります。

当会の特色は、何を差し置いても「踊ろう会」の活動です。町内に息を置く日本舞踊の名取りのお師匠さんの元で始まった趣味の集まりが、そのチームワークの良さが

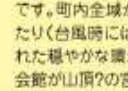
ら今では町内自治の諸活動も変えてきています。しかし残念なことに町内には活動できる広場がないことから折角のこの舞踊集団も、隣接町内を始めとした他町内の盆踊りや祝賀明陸上自衛隊の納涼祭等に、最近では、東南アジア友好祭(山下公園)等にも参加して腕を磨いているところです。毎月第三水曜日には当宮田町協和会館(町内会館)に集まって、懇親と練習を兼ねて技を研鑽し会員の相互理解に努めています。

他町内の皆さまのご参加も心から歓迎致します。また、区内他地域の皆さんから

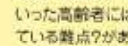
に組織を挙げて参加しています。毎年秋の訓練日には、宮田町の全体訓練のあと町内会館において、復習を兼ねて会員の懇親訓練を兼ねて実施し、会員の相互理解に努めています。



町内会



盆踊り



町内会

ライオンズマンション横浜星川町内会

発足 平成12年 世帯数 約125
26年度会長 小堀 正己

ライオンズマンション横浜星川町内会は、区役所などの官公庁が隣近にあり、また大型スーパーや星川駅にも近く、利便性に優れた立地の中にあります。

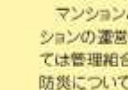
マンションという集合住宅の性格上、マンションの運営、施設管理、資源回収等については管理組合が担当し、住民同士の交流や防災については町内会が行うというように、役割を分担しつつ互いに協力しながら活動を行っています。

住民同士の交流については、毎年夏祭りや新年会を行っています。今年度の夏祭りでは、模擬店での販売やビンゴゲーム、またお子さん向けにポップコーンの実演などを行い夏の一日を楽しむことができました。理事会と共催で行った茶話会では懇親を深めながらマンションの管理・運営についてご意見を伺えるいい機会となりました。

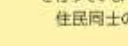
今後も住民同士の交流を深め、住みよい環境作りが行えるよう願っております。



マンションの様子



新年会



ポップコーン実演

「ほっとなまちづくり」計画の策定

平成28年度から32年度の第3期地区別計画(地域福祉保健計画=ほっとなまちづくり計画)を作るために、26年度は区役所の中央地区支援チームリーダーの小倉係長、区社協の富井事務局長ら関係者と、中央地区社協の有志による話し合いを7回ほど行いました。

ここでは主に現第2期計画の現状点検などを議題としましたが、今後は中央地区の地域性に合った具体的な第3期の案を、27年10月に策定するまで話し合いを続けることとなります。



話し合いの様子

編集後記

ようやく広報誌第8号をお届けすることができます。関係各位のご支援に感謝致します。版に内職成業で入院手術を受けました。その間、行事の取材ができない事態になりましたが、長兄協の仲間の方々により、中央地区の重要行事を漏らすことなくお知らせできたことに安心。どのような活動も健康が基本であることをあらためて痛感。中央地区にお住まいの皆さまのご健勝を祈りつつ、次年度も各自治会・町内会の着実な歩みと発展を記録してまいります。(園)

今年も「読みたくなる広報誌」を目指して取材、編集を心がけました。中央地区社協の有意義な活動、自治会・町内会の工夫を凝らした行事紹介など、皆様に加っていただき情報が満載です。どの情報にも笑顔が溢れています。地域を愛して、思いやりあふれる、素晴らしい中央地区の活気を、読者の皆様にお伝えできたいと思います。今年も取材にご協力いただきました自治会・町内会の皆様にお礼申し上げます。次年度もよろしくお願ひします。(園)

- 今年度も中央地区社協は高齢者支援、子育て支援、防災訓練支援、各自治会・町内会の諸活動支援などに取り組まれました。
- 広報誌(第1回)発行
- 広報誌(第2回)発行
- 広報誌(第3回)発行
- 広報誌(第4回)発行
- 広報誌(第5回)発行
- 広報誌(第6回)発行
- 広報誌(第7回)発行
- 広報誌(第8回)発行
- 広報誌(第9回)発行
- 広報誌(第10回)発行
- 広報誌(第11回)発行
- 広報誌(第12回)発行
- 広報誌(第13回)発行
- 広報誌(第14回)発行
- 広報誌(第15回)発行
- 広報誌(第16回)発行
- 広報誌(第17回)発行
- 広報誌(第18回)発行
- 広報誌(第19回)発行
- 広報誌(第20回)発行
- 広報誌(第21回)発行
- 広報誌(第22回)発行
- 広報誌(第23回)発行
- 広報誌(第24回)発行
- 広報誌(第25回)発行
- 広報誌(第26回)発行
- 広報誌(第27回)発行
- 広報誌(第28回)発行
- 広報誌(第29回)発行
- 広報誌(第30回)発行
- 広報誌(第31回)発行
- 広報誌(第32回)発行

中央地区社協の概要と構成

相模原市緑区にある中央地区の概要と構成

中央地区社会福祉協議会の概要と構成

中央地区社会福祉協議会の概要と構成

中央地区社会福祉協議会の概要と構成

中央地区社会福祉協議会の概要と構成

中央地区社会福祉協議会の概要と構成

中央地区社会福祉協議会の概要と構成

わくわく、楽しい「おたのしみ会」

26年度のおたのしみ会は、例年通り毎月(1,8月を除く)第1水曜日に行われました。はじめに健康体操をしたあと、調理ボランティア手作りのおいしい「昼食」を食べます。
その後、民児協メンバーの企画による芸術鑑賞や小物作りなどの楽しい「おたのしみ」のひとときを過ごしました。

- 4月 振り込みサキ防止講座
- 5月 演劇恋路さんの落語独演会
- 6月 額入りアジサイのちぎり絵
- 7月 カラオケ大会
- 9月 コースター作り
- 10月 日本舞踊
- 11月 エコバッグの絵付け
- 12月 羊年用年賀状立て
- 2月 ヴァイオリン演奏
- 3月 アコーディオン演奏



配食(お弁当)サービス

定着した事業の配食(お弁当)サービスも、年11回(8月を除く)毎月第3水曜日に行っています。真心こもった55食の弁当を調理ボランティアが12時から作り始めます。4時半に出来上がった弁当は配達ボランティアの手によって、夕方に利用者のもとに届けられます。



地域のつどいで宮田町の渡邊さんが発表

6月28日(土)午後には区役所会議室で行われた「地域のつどい」では、中央、中央東部、常盤台、和田の連合町内会の代表から、**住みよいまち作りの工夫例**が発表されました。中央連合町内会を代表して宮田町防犯部長の渡邊輝夫さんが「災害時要援護者支援の取り組み」を発表しました。各町内会の先駆を切ったの取り組みであることから、参加者も熱心に耳を傾け質問も多く出るなど、好評を博しました。



認知症まもりリレートークに山口さん登場

11月25日(火)午後から公会堂で開催された「認知症になっても暮らし続けたいまち保土ヶ谷を目指して」のテーマで開催されたリレートークでは、最初に永田久美子先生の基調講演のあと、各ヶアプラザから選出された方が自分たちの取り組みを発表しました。
星川地域ケアプラザの代表として、我が中央地区社協の民生委員である山口マキ子さんが登場。自身の母親の介護経験を通じた設備力ある認知症理解への呼びかけをしました。



中央地区社協は 各種活動を応援!!

自治会・町内会の恒例の催しが6月から9月にかけてそれぞれ開催されました。夏祭りは6月14,15日に横樹神社の祭礼として、**鼓楽や山車**が町内に繰り出し子どもたちの元気な姿が見られました。
8月には**盆踊り**が、提灯で飾られたやぐらを囲んで、夜空に太鼓のリズムが響き渡るなか、各町内の公園で若者男女が踊る姿が見られました。一部、雨で中止の会場も出ました。
その他、マンションではロビーや広場で独自のイベントが開催されました。各会場では**徳商店**や**慶台**からおいしい匂いが漂っていました。

今年も納涼イベントで大盛り上がり!

中央地区社協の総会を開催

5月24日(土)に平成26年度総会を、かるがも2階の多目的ホールで行いました。議長の中西地区協会会長を中心に、25年度の決算報告、今年度の行事計画と予算の承認、新任の役員選出などが行われました。

消防司令センターの見学(第1回見学会)



中央地区社協の第1回の施設見学会を6月21日(土)の午後に、民児協メンバーで横浜市消防局を見学しました。保土ヶ谷区役所内に消防局はあり、横浜中の119番通報を受けて市内全区の消防署に出勤を指令しています。いわば**ここは横浜市民の命を助ける窓口**です。
通報が入ると係員が素早く対応して、センター全面の大きなモニターに市内の通報受信・緊急車両出勤状況が表示されます。その模様を見学コースのガラス窓から見学することができました。

消防司令センター

特養ホームの訪問(第2回見学会)

中央地区社協第2回目の施設見学会を27年1月17日(土)午前、民児協メンバー18人で社会福祉法人・育明会が運営する特別養護老人ホーム「レジデンシャル常盤台」を見学しました。「その人が、その人らしく」をモットーに、ユニークな介護で注目を浴びている施設です。
高橋施設長から経営理念や、斬新な介護の説明を受けたあと、私たちの質問にも丁寧に答えて頂きました。その後、施設内を見せてもらいましたが、入居している**高齢者の表情がとても明るい**のが印象的でした。



高橋施設長

地区社協の「国会見学」バス研修会

11月11日(火)に中央地区社協恒例の日帰りバス研修会を行いました。行く先は築地場外市場、国会議事堂、NHK放送センター。自治会・町内会役員、民児協メンバー44人が参加しました。



国会では衆議院が終盤を迎え、重要法案審議中で本会議場は見学できず、参議院本会議場の見学となりました。折しも衆院解散の報道もあり、国会内は緊張感にあふれていました。また衆議院議員会堂での昼食は貴重な経験でした。

NHK放送センターも興味深い見学であり、ニュースキャスターの体験コーナーでは、中央地区の二人がキャスター役を務めると、その模様が大型モニターに映し出され拍手を受けていました。



NHK放送センター

見学会

保土ヶ谷区民児協全体研修(富士ハーネス見学会)

平成26年度の区民児協全体研修会は11月28日(金)、バス4台に171人が分乗して静岡県富士市にある日本盲導犬協会・富士ハーネスを見学。中央地区の民児協から12人が参加しました。

途中、山梨県富士吉田市で霊峰富士山を間近に見ながら、浅間神社を参拝したあとに河口湖畔を通過して「盲導犬の里富士ハーネス」に到着。

職員や盲導犬を利用している方の話を聞いたあと、館内を見学しました。訓練中の盲導犬や生まれて間もない子犬を目にして、**盲導犬に対する理解を深める**ことができました。



富士ハーネス



冬の風物詩
スカイハイツのイルミネーション
テーマ(宇宙ステーション)

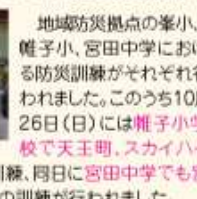
健康体操(ボール体操)講座

第5回目を迎えた中央地区社協の体操講座が12月10日(水)午後にかるがも2階の多目的ホールを会場に行われました。
今回は、高齢者健康体操教室、介護予防運動教室などを主宰している竹村里香先生を講師に迎えて、主にソフティズムというボールを使ったエクササイズ(体操)を、30人の参加者が楽しみました。
ボールを自由に操る先生のようにはいかないけれど、汗をいっぱいかいて、笑い声が絶えないひとときでした。



地域防災拠点での防災訓練

地域防災拠点の峯小、帷子小、宮田中学における防災訓練がそれぞれ行われました。このうち10月26日(日)には**帷子小学校**で天王町、スカイハイツ等の住民が参加しての訓練、同日に宮田中学でも宮田町の住民などが参加しての訓練が行われました。
峯小学校では11月9日(日)に体育館を会場として開催。各会場とも区役所職員、消防署・消防団、学校職員、自治会・町内会役員が任務に就いて無事に訓練を終えることができました。



あんしん訪問員の研修会

6月19日(木)10時からかるがも2階の多目的ホールで、中央地区社協あんしん訪問員の研修会を開催しました。区役所から高齢・障害支援課の内田課長や高橋係長、区社協の富井事務局長を講師に迎え、星川地域ケアプラザからも応援を頂いて、民生委員やあんしん訪問員がつよい、ワールドカフェ方式で訪問活動の課題や担当地域の特色などを語り合いました。

